



親字	音訓	甲骨文・金文・古文 (殷・西周・春秋・戦国)	説文解字 篆書	隷書 (秦・前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
營	エイ いとなむ								杜家立成
營									
喚	カン よぶ								杜家立成
									大聖武
									彌玉集
喜	キ よるこぶ								王勃詩序
									王勃詩序
									伝嵯峨天皇
喫	キツ くうのむ								伝嵯峨二皇女
喬	キョウ たかい								王勃詩序
									五経・天部

【營】大徐本と段注本の字体が異なる。

「右」の書き順が変化している。

【喜】大徐本と段注本では古文の字体が異なる。【喫】説文不録。中国での使用例が見つからない。現代中国では「喫」と「吃」が統合されている。

【喬】上部を「右」に作るのが通用字体。王勃詩序ではすでに

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん 明治39年	通字体活字 明治41～ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
												營 現代中国
								(營)				
												喚 現代中国
												喜 現代中国
												吃 現代中国
												喬 現代中国

※当用漢字字体表の下の○×は、複数の字体がある字種のうち昭和24年当時、岩田母型製造所での母型の有無を示す。



